

目 次

- . 総括研究報告
 - 創薬と新規治療法開発に資するヒト肝細胞キメラマウスを用いた・・・1
肝炎ウイルス制御に関する研究
茶山 一彰

- . 分担研究報告
 1. 創薬と新規治療法開発に資するヒト肝細胞キメラマウスを用いた・・・9
肝炎ウイルス制御に関する研究
吉里 勝利

 2. miR-122 による C 型肝炎ウイルス複製制御機構の解明・・・・・・・・・・14
金子 周一

 3. レプリコンを用いた C 型肝炎ウイルス増殖に関与する宿主分子の・・・18
網羅的解析、リバーシジェネティックスの構築に関する研究
土方 誠

 4. HCV 感染モデルマウスに対するインターフェロン- γ 遺伝子治療効果の・・・22
検討
高倉 喜信

 5. 次世代シーケンサーを用いた DAA 耐性 HCV の検討・・・・・・・・・・26
前川 伸哉

 6. HCV 感染の細胞特異性における Quasispecies の意義に関する検討・・・29
松浦 善治

 7. HCV 制御に関わる NK 細胞機能分子の解析・・・・・・・・・・32
大段 秀樹

 8. In vitro、in vivo 増殖系を用いた C 型肝炎ウイルス増殖のメカニズムの・・・36
解析と創薬への応用
脇田 隆字

9. ヒト肝細胞キメラマウスを用いた新規抗 HCV 薬の効果判定	42
今村道雄	
. 研究成果の刊行に関する一覧表	47
. 研究成果の刊行物・別刷り	57